

UENO JAZZ INN '11 上野ジャズ・イン

フェスティバル当日の最高気温33.5℃を上回る ホットな体感を与えてくれた豪華なラインナップ

取材：菅野 聖
撮影：松川泰治
編集：UENO JAZZ INN事務局(※)

地域密着型ジャズ・フェスティヴァルを代表する「UENO JAZZ INN '11」が今年も例年どおり東京・上野公園で開催された。25回目を迎えた今回は、多岐にわたる人気のバンドが一堂に会し、観客も立ち見が出るほどの盛況となった。まさに“夏フェス”と呼ぶにふさわしい熱いステージの模様をレポートしよう。

8月6日、東京・上野公園不忍池湖畔にある“水上音楽堂・みずどりのステージ”で「UENO JAZZ INN '11」が開催された。トップを飾ったのは、兵庫県芦屋にある男子校、甲南高校の生徒たちによるビッグバンド“甲南プラスアンサンブル”である。昨年12月に行なわれた「第30回浅草JAZZコンテスト」で見事グランプリを獲得し、今回のオープニング・アクトを務めることとなったわけだが、その嬉しさを体現するような「モーメンツ・ノーティス」で演奏がスタート。瑞々しさを炸裂させながら2曲披露したところで、同じく「第30回浅草JAZZコンテスト」ヴォーカル部門グランプリ受賞者の小林ゆうこが登場。彼女は今年の春に開催された「第12回神戸ジャズヴォーカルクイーンコンテスト」でもグランプリを手中に収めている注目のニュー・フェイスで、“甲南プラスアンサンブル”の演奏をバックに「センチメンタル・ジャーニー」を含むスタンダード・ナンバーを4曲披露した。素直で伸びやかな歌唱法は好感度大、今後の活躍にも期待が持てる。再び“甲南プラスアンサンブル”の熱い演奏「エクスプロージョン」で舞台はチェンジ。

カラフルな衣装を纏った“東京ブラスタイル”の女子11人がステージに飛び出すと、いきなりキュートなムードに早変わり。鮮やかにアレンジされた“ドラゴンボール”の主題歌「摩訶不思議アドベンチャー」をはじめ、数々の人気アニメ・ソングやお得意のジブリ・ナンバーをリズムカルに、そして大胆なホーン・サウンドで大放出。人々の視線を意識したフォーメーションも完璧で、笑いを誘う



バトルジャズ・ビッグバンドwith小林桂



木村充輝&梅津和時クアルテット

MCや随所に織り交ぜた客席とのコール＆レスポンスのタイミングもバッチリだ。魅せるステージではあるがそれぞれのソロも堂に入り、聴かせる部分はしっかりとアプローチしているのが素晴らしい。入場の際に配布されたうちわを仰ぎながら声援を送っている観客は、女子力の持つパワーにすっかり魅了されていた。

その空気を一転させたのは梅津和時(sax)クアルテットだった。まずは梅津のオリジナル

曲「東北」で口火を切る。この曲は仙台出身の彼が東日本大震災の後に作ったナンバーで、その深い嘆きを彷彿させるカデンツァは激しく、ストレートに胸に響いてきた。さらに井野信義(b)、田中信正(p)、田中徳崇(ds)が加わると、涙を誘うほどの美しいメロディが会場を包み込み、まるで鎮魂歌を聴いているような気分となった。これぞ、名曲、名演。そこへ元・憂歌団のリード・ヴォーカルで現在、さまざまなユニットやソロ活動を精力的に行



東京プラススタイル



小林ゆうこ(vo)&甲南プラスアンサンブル(※)

なっている唯一無二なアーティスト、木村充揮(vo,g)がピョロピョロと登場。「五木の子守唄」の冒頭部分を唄い出し、ガーシュウィン・ナンバー「サマータイム」へと突入。実は彼、今春、梅津をプロデューサーに迎え、ナット・キング・コール(vo)とビリー・ホリデイ(vo)をトリビュートしたジャズ・アルバムを2枚発表しており、「サマータイム」はビリーに捧げた「Kimura Sings Vol.2~Daylight in Harlem」に収録してある。アルバム・ヴ

アージョンよりも奔放なパフォーマンスは「イツ・オンリー・ア・ベイバームーン」も同様。こちらはもう1枚の新作「Kimura Sings Vol.1~Moon Call」に収められていた日本語の歌詞によるもの。珠玉のバラッド「天王寺」や憂歌団のデビュー曲「おそうじオバチャン」も盛り込んだ全7曲は、木村の圧倒的な存在感を肌で感じさせられた最高の時間であった。日も暮れて、多少は涼しさを感じられるようになった頃、吉田治(as)率いる「バトルジャズ・ビッグバンド」がステージに上がった。2008年結成、メンバーのほとんどが30代前半で、高度なテクニックを駆使しながらスピード感に溢れた刺激的なアンサンブルを披露し、人気はウナギ登りのビッグバンドだが、その新風を見せつけるかのごとく、吉田のオリジナル作品「ザ・ファースト・ステップ」で

- オープニング・アクト
- 甲南プラスアンサンブル(「第30回浅草JAZZコンテスト」グランプリ/バンド部門)
 - 小林ゆうこ(vo)(「第30回浅草JAZZコンテスト」グランプリ/ヴォーカル部門)
- 東京プラススタイル
anna(tp)、古屋ヒロコ(tp)、石川恵美(as,ss)、井口久美子(ts)、ましゆ(bs)、榎家小雪(tb)、本村彩織(tb,vo)、足立恵子(btb)、フジワラミエ(kb)、平野なつき(b)、金成葉子(ds)
- 木村充揮&梅津和時カルテット
木村充揮(vo,g)、梅津和時(sax)、井野信義(b)、田中信正(p)、田中徳崇(ds)
- バトルジャズ・ビッグバンド
吉田治(as,cond)、諏田修一(as)、長島一樹(bs)、鈴木圭(ts)、大郷良知(ts)、佐久間勲(tp)、田中充(tp)、中野陽介(tp)、中村憲介(tp)、五十嵐誠(tb)、榎本裕介(tb)、川原駿二(tb)、秋永岳彦(btb)、宇間陽一(p)、岸徹至(b)、則川裕之(ds)
スペシャル・ゲスト:小林桂(vo)

観客の気持ちを鷲掴み。トロンボーン・セクションをフィーチャーした「ドナ・リー」やチック・コリア(p)作の「サンバソング」など、これでもかというほど、超高速ブレイで畳みかける。そこへ人気ジャズ・ヴォーカリスト、小林桂が加わり、華麗でスウィングな空間に瞬間移動。ビッグバンドが送り出すゴージャスなサウンドと一体になった小林の歌声は合計4曲、中でも「パーティド」で披露したスキヤットは、本物のトロンボーン・ソロを聴いているようで、エンターテイナーとしての実力も存分に発揮していた。再び「バトルジャズ・ビッグバンド」のみの演奏となり、ポップ・バーグ(sax)作の「スネイクス」、アルバム「5th」に収録されている「バトル・オブ・ザ・バップ・ブラザーズ」の熱演ですべての演奏が終了となった。

舞台転換の時間を使ってプレゼント抽選会も行なわれるなど、アットホームな雰囲気も漂っていた「UENO JAZZ INN '11」だが、25回目を迎えたステージでの演奏は、この日の最高気温33.5℃を上回るホットな体感を与えてくれた。

第31回 浅草JAZZ コンテスト

[31st ASAKUSA JAZZ CONTEST]

平成23年12月10(土)
3:00pm~8:00pm
浅草公会堂ホール

参加グループ募集!

平成23年9月21日(水)~
平成23年10月21日(金)午後5時必着

- ジャンル:ジャズ
- 応募資格:ステージで歌唱・演奏可能なミュージシャン。年齢、国籍は問わない。
- ボーカル部門……ソロ又はグループ(2名~20名)(ピアノ又はギターの弾き語り可)
- バンド部門……コンボバンド(2名~8名)
フルバンド(9名~20名) ※何れもインストゥルメンタルのみ

※応募要項の詳細は下記アドレスのホームページよりダウンロードいただくか、問合せ先までご連絡ください。応募時の個人情報に関しては、当コンテストの事業運営以外には使用いたしません。

申し込み先・問い合わせ

〒110-0004 東京台東区下谷1-2-11 (公財)台東区芸術文化財団 浅草ジャズコンテスト係
TEL. 03(5828)7591 FAX. 03(5828)7594

JAZZコンテストホームページ <http://www.taitocity.net/taito/zaidan>

※受付時間 月~金曜日(土、日、祝日は休業)午前9時~午後5時

■主催 公益財団法人 台東区芸術文化財団